

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園／天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター

しぜんきょういくな

自然教育園だより

Vol.4 No.1

(2011年春号)

2011年3月25日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

▶ 自然教育園での出来事 (2010年11月～2011年2月) ◀

馬堀自然教育園

11月3日 メジロがムラサキシキブの実をついでいた。センリョウの果実が赤くなってきた。

11月5日 ヒヨドリが群れて水浴に来ていた (a)。台湾リスが枝を渡ってきた (a)。

11月7日 ヤブコウジの実が赤くなっていった。シロハラが数羽、鳴きながら地面から枝へ飛び移っていた。カワセミのメスがいた (a)。池のまわりにアライグマの足あとがあった (a)。



ヤブコウジの果実 (11/7)



馬堀自然教育園

11月14日 ビナンカズラが赤い実をつけていた (a)。ツクバトリカブトが1輪咲いていた。シジュウカラが群れていた (a)。



アライグマの足あと (11/7)

11月18日 ハゼノキ、コナラなどの落葉で、園路が明るく色づいていた。クロヤツシロランの果実が熟していた。ヤツデの花が咲いていた。エノキの倒木にヒラタケがたくさん出ていた (e)。ムラサキシメジが3本出ていた。



ヤツデの花 (12/2)

11月30日 テイカズラの種子が落ちていた

(b)。キツタの花が満開。

12月2日 ツグミが2羽、鳴きながら飛んで行った (a)。

12月8日 アオサギが飛んできた (a)。

12月17日 アオサギの若鳥が来た (a)。フウトウカズラの実が赤くなっていった。

12月22日 シロハラがいた (c,e)。オニグルミにツグミがとまっていた (a)。アオゲラが鳴いていた。



シロハラ (1/6)

1月4日 コサギが来た (a)。メジロ、シジュウカラ、コゲラがいた (b,e)。

1月8日 ツグミが来た (a)。シメを見た (b)。

1月11日 ヤマネコノメソウの葉が出ていた。数羽のマヒワが見られた (a)。ツグミとスズメがそろって水浴してい

た (a)。斜面でヤマガラを見た (b)。

1月13日 ツグミとシメとマヒワが水を飲んでいった (a)。

1月16日 ウメのつぼみがふくらんできた (a)。クロジ、シロハラ、ツグミ、カワラヒワが見られた (a)。アカハラがいた (e)。

1月20日 マヒワ、カワラヒワ、ツグミ、シロハラがみられた (a)。アオジを見た (e)。



フキの芽 (1/25)

1月25日 フキノトウの芽が出ていた。ツグミ、ヒヨドリ、カワラヒワが水を飲んでいった (a)。夕方、枝にツグミが6羽とまっていた (a)。アオジがいた (b)。

1月30日 ウメの花が開花した (a)。

2月5日 ウグイスカグラが芽吹いていた。園路にクロジがいた。マヒワの群れがいた (a)。

2月10日 シロハラを見た (b)。

2月17日 トウキョウサンショウウオの卵のうを1腹確認した (c)。

2月22日 オオイヌノフグリ、ハコベの仲間が咲いていた。トウキョウサンショウウオの卵のうが26腹以上見られた (c)。



トウキョウサンショウウオと産みだした卵のう (2/18)

2月26日 シロハラを見た (b)。

2月27日 ヒメウズが咲きだした。シュンランはまだつぼみ。トウキョウサンショウウオの卵のうを新たに2ヶ所でそれぞれ5腹確認した (b,c)。トウキョウサンショウウオの卵のうにイモリ2匹が寄り添うようにしていた。

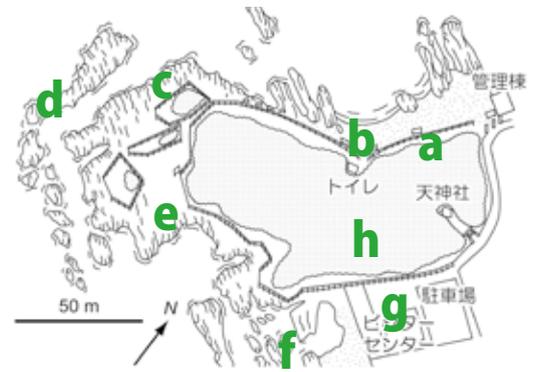
天神島臨海自然教育園

11月4日 モズがムクドリの群れを追い払っていた (f)。この秋初めてアオジの声をきいた (h)。

11月5日 ハシボトガラスに追われ、林へ逃げるオオタカを見た (h)。柱状に群れて飛ぶトビの中にハイタカがいた。ミサゴが魚をつかんで笠島へ飛んでいった。この秋初めてジョウ



カワセミのペア (11/5)



天神島臨海自然教育園およびビジターセンター

ビタキとホオジロを見た (h)。カワセミのペアがいた (c)。

11月6日 ウグイスの声を聞いた。タイワンリスがいた (h)。

11月7日 笠島のイソギクが満開だった。天神島でツワブキが咲いていた (h)。

11月11日 シロダモの葉裏にオオキンカメムシがいた (h)。



ハシボソガラス (11/14)

11月13日 この秋初めてツグミを見た (h)。

11月14日 ミサゴが2羽いた。モズとイソヒヨドリが争っていた (f)。ハシボソガラスがソテツの実をくわえていた。

11月18日 ハヤブサがムクドリをつかまえようとして失敗していた (e)。

11月19日 この秋初めてウミウを見た (d)。アカウミガメの左の前ひれが流れ着いた (c)。潮だまりでゴンズイの幼魚の群れが見られた (f)。ホシホウジャクとみられるスズメガ類



ゴンズイの幼魚 (11/19)



スズメガの仲間 (11/19)

がツワブキで吸蜜していた (h)。

11月20日 鳥のクロサギが魚のクロサギをつかまえた (b)。

11月21日 セグロセキレイとハクセキレイのメスが行動をともにしていた (f)。マガモの



クロサギ[魚]をくわえた
クロサギ[鳥] (11/20)

オスメス2羽を確認した (c)。

11月25日 ビジターセンター前のハナイソギクが満開になって



ハナイソギク (11/25)

いた (g)。島の南西沖で旋回上昇しているノスリを確認した。今シーズン初めてアカハラを見た (h)。

11月27日 この秋初めてヒメウを見た (d)。鳥のウミスズメを見た。

11月28日 南西風が終日吹き、海が大きく荒れた。ウラシマソウが実をつけていた (h)。林縁でカナヘビを見た。



オキナガレガニ (12/2)

12月2日 ヒヨドリ10数羽が騒いでい

た (h)。打ち上がった発泡スチロールにオキナガレガニがついていた (b)。

12月3日 南風が強く吹き、砂浜に大量のゴミが打ち上がった (e)。

12月4日 アカハラ2羽が林内で鳴き交わしていた (h)。イソヒヨドリのメスがオスに追いかけていた (b)。

12月9日 笠島でハヤブサの若い個体がイソシギをつかまえようとして失敗した。

12月11日 ミサゴが笠島の杭の上で何かを食べていた。ハマオモトヨトウの幼虫が確認できた (b)。

12月12日 ホオジロを確認した。

12月16日 南の海上で天

神島では初記録となるミミカイツブリを確認した (e)。スイセンが咲いた。



オオセグロカモメの若鳥 (12/17)

12月17日 笠島にウキの付いた

釣り糸が足にからまったオオセグロカモメの若鳥がいた。イソヒヨドリがカワセミを追い払っていた (f)。キョウジョシギ1羽を確認した (d)。クロサギが潮だまりで小魚を食べていた (b)。タイワンリスが鳴いていた (h)。

12月23日 沖合いで休んでいるウミアイサ6羽がこの冬初めて見られた。潮だまりではギンユゴイ、キュウセン、カミナリベラなどが見られた (d)。

12月25日 西風が強く吹いた。1000羽ほどのカワウの

群れが笠島上空を行き来していた。

- 12月26日 シメがエノキの実を食べていた。マツモムシ、ハイイロゲンゴロウが雨水の水たまりで多数見られた。
- 1月6日 林内でタヌキの溜めフンを確認した (h)。
- 1月7日 雨水の水たまりに氷が張った。
- 1月8日 シロハラ1羽が林床で餌を探していた (h)。ボラとクモハゼ数尾が潮だまりで死んでいた (d)。
- 1月13日 ウミネコ約1000羽が笠島で休んでいた。
- 1月15日 ヤブツバキの花が満開になっていた。ツルオオバマサキの実が赤く熟していた (h)。草地から飛び上がったチョウゲンボウが、木の上でカナヘビを食べていた (c)。



ツルオオバマサキの実 (1/15)



チョウゲンボウ (1/15)

- 1月16日 ハマダイコンが一株、季節外れに開花していた。ツグミが岩場でフナムシをついばんでいた (f)。
- 1月21日 アカハラがツグミと激しく争っていた (c)。
- 1月22日 沖合でカンムリカイツブリが見られた。
- 1月23日 イソシギ2羽が求愛の行動をとっていた (d)。
- 1月27日 最近雨が少なく、マツモムシ、ハイイロゲンゴロウが越冬していた雨水の水たまりが干上がっていた。
- 1月30日 フクロノリが砂浜に大量に打ち上がった (b)。この冬初めて雪が降った。上空にノスリが飛んでいた。

クロサギ2羽が前年度の営巣地付近にいた。

- 2月4日 繁殖前の行動であるガーディング(オスがメスをハサミでつかんで移動)をしているユビナガホンヤドカリが多数いた (f)。カラマツガイの卵が多数見られた (d)。大きさ約10cmのタツナミガイも多数いた (d)。



カラマツガイと卵 (11/7)



クロジ (2/13)

- 2月5日 今シーズン初めてクロジ2羽を確認し、その後2週間ほど確認することができた。林床でキジバトが15羽ほどで餌を探していた (h)。

2月11日 雪が降りつづいたものの、積もらなかった。

- 2月18日 中身が空になったヤツシロガイにヤドカリイソギンチャクが付いていた (c)。オオキンカメムシが路上で死んでいた (g)。
- 2月27日 コサギ約50羽をはじめ、アオサギ約30羽、ダイサギ6羽、クロサギ5羽をはじめとするサギ類が多数笠島に集まっていた。このうちクロサギ2羽は昨年確認した営巣地の近くにおり、1羽が巣のあったくぼみに入り、垂れ下がった枝を取り除こうとしていた。クロヤマアリが活動していた (どこ?)。

▶ 自然教育園イベント紹介 ◀

— 博物館教室 —

1. 植物の観察と分類 (春夏編)

植物のつくりの基本を、春と夏に花が咲く身近な植物を材料に観察・スケッチします。また、三浦半島に見られる科を中心に植物の主な科や属の分類を紹介します。2011年5/28、6/11(土)の全2回。10:00-12:00。馬堀自然教育園。対象は中学生以上20名。野外保険料100円。締切:5/14(土)。

2. 昆虫教室 ～基礎から学ぼう昆虫学～ [Ⅰ・Ⅱ]

(協力:三浦半島昆虫研究会)

身近な昆虫の採集や観察の方法を楽しく勉強します。[Ⅰ]2011年5/29、6/19、7/10、8/21(日)、[Ⅱ]5/29、6/26、7/17、8/21(日)のそれぞれ全4回(いずれか一方にのみ応募)。10:00-15:00。本館1階講座室および馬堀自然教育園、中央公園、観音崎公園。対象は小・中学生各20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料200円。締切:5/15(日)。

— 自然観察会 —

1. 海藻入門 (協力:東京海洋大学藻類学研究室)

三浦半島の沿岸には多種多様な海藻が生育しています。ふだん目にする事の少ない海の植物を観察します。2011年4/17(日)10:00-15:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上

20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:4/7(日)。

2. ウミウシの観察 (2011『国際博物館の日』記念行事)

「海の宝石」といわれる貝のなかまウミウシ類を中心に、磯の生き物たちを観察します。2011年5/21(土)10:00-12:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上30名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:5/7(土)。

3. 潮だまりの生き物

1年で最も干満の差が大きくなるこの時期、潮間帯の岩礁にできる潮だまりにくらすカニやヤドカリ、巻貝、ウニ、魚などを観察します。2011年6/4(土)10:30-12:30。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上30名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:5/21(土)。

4. ホタルの観察会 [Ⅰ・Ⅱ]

馬堀自然教育園で、20年以上にわたって保護および生息環境の整備に努めているゲンジボタルとヘイケボタルを、生息環境について学びながら観察します。[Ⅰ]2011年6/18(土)、[Ⅱ]6/25(土)各18:00-20:00(いずれか一方にのみ応募)。馬堀自然教育園。それぞれ対象は小学生以上50名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切:6/4(土)。

東北地方太平洋沖地震、天神島でも津波を観測

2011年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とする巨大地震（東北地方太平洋沖地震）が発生しました。地震の規模を表すマグニチュードは8.8とされましたが、後に9.0に修正され、日本では観測史上最大、世界でも4番目の大きさとなりました。横須賀市でも震度4から5弱の長い揺れを観測し、地震で発生した津波が天神島臨海自然教育園でも観測されました。詳しい時刻は不明ですが、

11日午後4時ごろから潮位の変化が見られたようです（横須賀では15時52分に0.9mの第一波を観測、図1）。後日、流されてきた海藻などによって、津波の遡上高を知ることができました（写真A、B、C）、幸いにも園内の管理棟やビジターセンターには津波が届かず、大きな被害はありませんでした。神奈川新聞3月12日朝刊の記事によると、相模湾沿岸では80～90センチの津波が観測されま

した。天神島でもこの程度の高さの津波が押し寄せたものと考えられます。天神島周辺の海域では、3月12日も引き続き津波による潮位の変化が見られました。

今回の地震と津波によって被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。（柴田 記）

※ 写真A～Cの黄矢印は津波の最大到達点（3月12日午前 萩原 撮影）。



写真A. 教育園北西側の岩場



写真B. 教育園南側の砂浜



写真C. ビジターセンター裏側

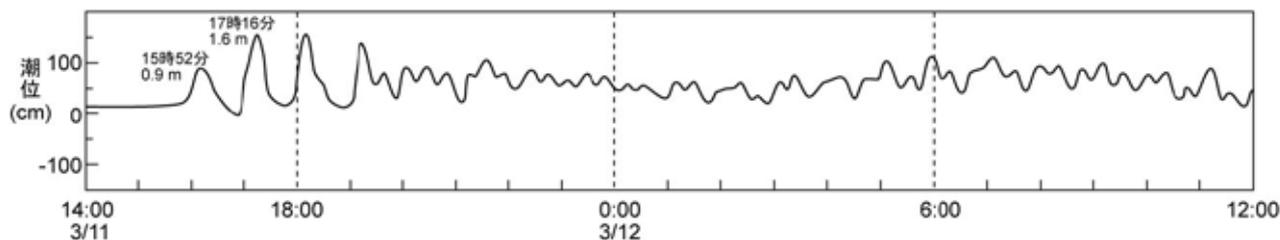
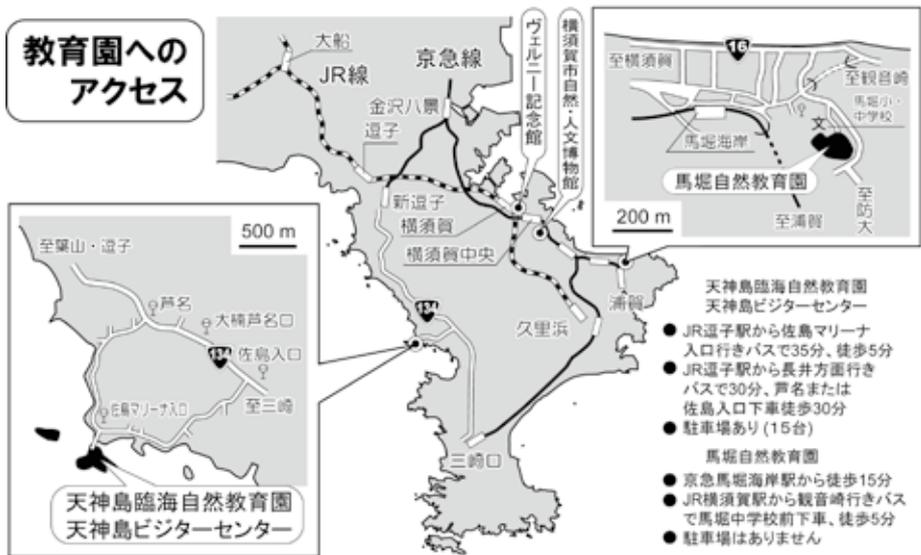


図1. 横須賀の地震直後の潮位変化（気象庁発表の資料より作成）

横須賀市自然・人文博物館 附属自然教育園



馬堀自然教育園
〒239-0802 横須賀市馬堀町4-10-3
TEL 046-841-5727 (FAX 共用)

神奈川県指定名勝・天然記念物
天神島臨海自然教育園
(ビジターセンター)
〒240-0103 横須賀市佐島3-7-3
TEL 046-856-0717 FAX 046-857-5219

博物館本館
〒238-0016 横須賀市深田台95
TEL 046-824-3688
FAX 046-824-3658

休館・休園日 月曜日・年末年始
※ 2011年は5月2日(月)を開館・開園、5月6日(金)を閉館・閉園
開館・開園時間 9:00-17:00
(自然教育園 10～3月は16:30まで)

博物館ホームページでも、「自然教育園だより」をご覧いただけます！
(<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>)